THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻 第九號

每週金曜日發行

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可）
（大正五年二月二十五日発行）

婦人週報

本號目次

□卒業から嫁入まで……小橋三四子
□時事週評……
□一人一評＝廣岡淺子……
□雛祭りと子供……
▽雛の團欒を故郷の一つにして……野口幽香子
▽甘酒を雛壇に……片山博士
▽我が家の節句……田中千代子
□今年のお雛さま……京子
□男爵夫人の自殺……向軍治
□芝居の女から……江戸屋主人
□夢……安中花子
□帝國ホテルの料理場を見る……一記者
□入浴と散歩……薄田斬雲
□子供の咳の手當……唐澤博士
□春の装ひ……中澤千枝子
□雛の馳走……櫻井ちか子
□世界史お伽譚「西洋の楠公」……斬雲
□世界名女傳「スタウ夫人」（下）……翠子
□小說「何處へゆく」……松本雲舟
□時事＝女學校だより＝個人消息＝編輯室より……

定価一部四銭五厘

郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二一番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも新調同様になります
殆んど和洋服
外套インバ（東コート）ネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニングと染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留塲際
電話新橋三一〇八

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

◎生徒募集　家族的寄宿の便あり

個人教授　裁縫技藝
●造花●摘細工●縫細工●綿細工●編物●袋物●刺繡●壜細工
●儀式用折紙●水引結方
▲入所時間科目隨意
麹町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

胃を丈夫にし消化をよくす

胃强

一個　金拾錢也

改良はあくまで弊店の主義に候も胃强に就いては此上改良の餘地なきまでに相成り居り候

發賣元　目白藥局
小石川高田老松町十七番地
振替口座三一一六九二

古本專門買入
小石川區大塚
御報參堂　山加書店

產科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫　井出茂代
電話番町三六七七番

齒科　ドクトル　富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留塲より西一丁）

園藝大家　實驗　千葉晩香先生　發見
長崎藥學士　岡村繁先生　製劑

美妙水

大瓶　金廿五錢
中瓶　金拾五錢
各送料　金八錢宛
（海外は別送料）

◉美妙水の著能　凍傷。濕疹・疥癬　其他
▲虻蜂▲南京蟲等に螫刺
發賣元　龍明堂　千葉せい
橫濱市青木町輕井澤一九五五
（振替東京壹六五四參番）

◎小兒科
◎內科
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士　清水榮

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

卒業から嫁入迄

□

本誌が號を重ねて「女學生の經費調べ」「他人の家庭か寄宿舍か」及び「女子寄宿舍の献立調べ」等を連載し、學校の節季に際して、遊學問題の盛んに起る昨今の家庭の參考に供しましたが、次には當然「卒業から嫁入迄」といふ問題に逢着するのです。然るに東京朝日新聞は、過る十數日に亘つて、この問題に就き、諸名家の說を叩いて居ります。何れも有益に聞かれましたが、此處にはその說の二三の概略を紹介し、併せて本誌の主張を述べて見たいと思ひます。

□

山脇高等女學校教頭從師谷秀教氏に、「學校教育で一般の理解力が養はれて居るのを、卒業後は實際に適用して家庭的に教へ込むことが必要である、即ち學校教育は一齊教授で、裁縫にしろ、割烹にしろ、數十人の生徒を一緒にしての教授方法である、其處には種々の缺陷や不行屆きがある、家庭での教習は個人教授である。母なり姉なりを先生として、實際に當つて、手を取つて教はる其の間に完全が期せられる。學校の卒業生中から結婚期の統計を採つて見ると、卒業後二年と三年とが著しい數を示して居る。之によつても卒業後二三年間は家庭に在つて教養を受ける暇のある事を證據立てゝ居る」と。

□

日本女子大學校學監麻生正藏氏は「今の時代では高女を卒業しただけでは、結婚のあらゆる條件を解決し得るものでない、舊時代の結婚には娘に財産を付けて置けば安心して得られたかも知れない。今日は眞に結婚の爲、娘の爲を案ずるならば、技術を仕込んで置くに如くはない。其の教育法は性格教育を主旨とせられたい。裁縫可なり、タイプライター亦可なりである、が、要は常人の性格、趣味、嗜好に依り、其の個性を發揮せしめ、長所を發見せしむるにある、そして其の教旨も所謂「お稽古」に非ずして、研究の意味を加味せしめればならぬ、私は現代の女子教育に研究—頭の働き—を要求する。「人生の成功は正確なる判斷より生る」とさへ稱せられる。あらゆる婦人教育問題も此の判斷力の養成から出發せねばならぬ。」と

□

青山女學院教頭塚本はま子氏は「私はお嫁入までの教育と云ふ事に關し、兩親から相談を受けた場合ににかう考へます。「出來得る事なら家庭の事情の許す範圍で、且つ本人の技倆が希望に伴う資格があるものならば、英語でも裁縫でも專門の學藝を修めしめ度い、そして自活の道の立つ丈の裏書が欲しい、又私が久しく女高師で實見した經驗に徴しても、女學校卒業後の女子の結婚が一年や二年遲れたからと云つて、悲慘の境遇に陷つたと云ふ様な心配はありません、却つて女學校を卒業するを待ち焦れて、無我夢中でお嫁入をさせるよりは、多少實社會に馴て、物事が判る様になつてから結婚させたいものです。

□

これ等の說の示す通り、卒業から嫁入り迄は實地教養時代である、而してその期間は少くとも二三年を要する、更らに事情が許すならば、進んで職業を與へて將來の生活の保障を立てたいと云ふのが大體の傾向であります。今日はもはや女學校の教育が全然嫁入る準備といふ事を離れて、女子の頭腦開發に重きを置かうとして居ります。女子其の者が人間らしく爲つて、初めて良妻賢母も生れて來るといふので、これ迄稍もすれば本末轉倒して、力の入れ處の外れて居つたものが漸く中心が定められやうとして來ました。

□

教育界のこの傾向を喜ぶと共に、卒業せんとする若い婦人方の考へ方も確かに進歩して參つた事は疑ふを要しません。然し「親の心を子は知らず」で、まだ苦勞の味を嘗めぬ若い人々の耳には、教師や

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先輩が遠く慮つた親切な指導も、却つてうるさいと思ひ勝ちなもので、母や姉の云ふが儘に結婚を待つ事が一番安易な道のやうに思つて居る者が無いとも限りませぬ。然し當てもない事を的にして遊び暮す中に、兩三年は夢の間に過ぎて終ひます。もしその間に良緣を得らるればよいが、さも無くば年は老ける、さう〱親の厄介にもなつては居られず、世間體も惡いといふので、不滿足な結婚を敢へてするか、或は煩悶懊惱の日を送るやうになります。されば云つてその時から職業を執る元氣は多くは失せて終ひます。私は切に若い方々に勸めたい、卒業から嫁入り迄を、所謂「待つ年」として暮さずに、卒業の翌日から直ちに目的を以て進んで行くやうに、その目的を自ら心に確立したいといふことであります。

口

幸に境遇が許して、更らに進んで專門の智識技能を磨くことが出來る者は格別さうでなくとも家庭の仕事を營みながらも、裁縫なり、洗ひ張りなり、若しくは料理或は育兒なり、興味のある事を一つ取つて、いざと云へばそれを職業として立ち得る迄に磨いて置き度い、そして進んではその道によつて幾分なりと金錢を得る道を講じて見たい。婦人は虛榮心が强いとか、役に立たぬとか云ふ者がありますが、親や夫の蔭に覆はれて生活する婦人は、何と云つても氣樂なもので、眞實の世の世智辛さも知らず、働らきの難かしさも、從つて金錢の尊さも知らないので、洗練されぬ人間になるのは無理もありませぬ。婦人が自分を作る爲めにも世間を知る爲めにも、亦將來の生活の保障の爲めにも、確かな目的を以て日々を過されんことが、何よりも大切な事と思はれます。而してこれは人に持たしめらるゝのでなく、若き婦人自身の强い要求から生れて來ることを望みます。（三四子）

時事週評

▲日露同盟交涉　露國太公殿下本邦御訪問の結果、極東問題に對する日露兩國の意向大體一致しましたので、日露同盟の協約は露都に於て交涉中だと聽きます。又日露戰爭の折に捕獲した四艘の露艦は露國の懇請によりて讓渡すとに決定してゐるのです。兩國の舊い惡感情が一掃されて、新しい理解と好意とが兩國の間に生ずるに至つたのは喜ばしい現象です。

▲可憐なる兩男爵夫人　二月廿日の新聞紙は悲慘なる二つの事實を傳へました。一つは鷲尾男爵夫人が生活不如意のために自殺せる事と、他の一つは名和男爵夫人が過つて電車に轢殺されたとです。この二つの悲慘事が同時に發表されましたとは、言ひ難き哀愁の情を世人に與へました。生活不如意が華族社會にまで及んでゐる事は珍らしくない事ですが、そのために婦人の自殺者を出したとは恐らく今回が初めてだらうと思はれます。歐洲戰亂の影響のため成金が多く出來る今日、一方には其の影響のために益々貧困に陷る者が澤山にあるとを見逃してはなりません。一時の好景氣は貧富の懸隔を益々激しくするに過ぎぬでせう。斯る際に當りて婦人も亦座食すると能はざるを悟つて、鷲尾男爵夫人の如き悲觀に陷らす、其の苦しい中を拔け出る途を講せねばなりますまい。婦人の職業問題は今後益々銘々に考究する必要があります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

廣岡淺子

▲昨年協同傳道のあつた折、新渡戸博士が青年會館で演説をして「宗教の形式は佛教でも基督教でも差支へないが、兎に角宗教的信仰は人生に最も大切である」といふやうな演説をされた。其の次に演壇に立たれたのは、誰あらう、廣岡淺子さんであつた。開口一番「唯今新渡戸博士は宗教の形式は佛教でも基督教でも差支へないと仰やつたが、私は基督教でなければいけないと想ひます」と。それから自分の信仰の理由を熱誠籠めて説かれたが、其の衷情を披瀝した告白に聽衆は深く感動した。實際新渡戸博士を前に置いて、其の誤謬を正すといふのは、餘程偉い確信がなければ出來ぬ事である。

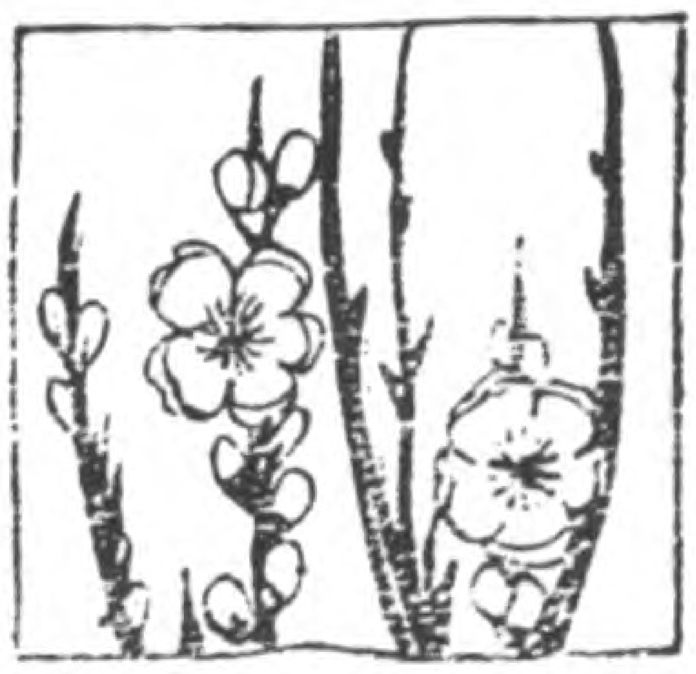
▲淺子さんが信仰の道に入られたのは、其の六十一歳の時であつた。それまでは基督教を穢多村と罵つて、中々道を求めやうとせられなかつた。大阪の有名なる牧師宮川經輝氏の人格に觸れて飜然回心せられたのは、いかにも奇蹟の如き變り方であつた。六十一歳といへば、普通の者なら唯後生を求めて唯有難い、有難いといふやうな信仰に留まるべき年齡である。老人は知識の進歩の鈍いやうに、信仰もそれ程進まぬのが普通の狀態であるけれども淺子さんは全くさうでなかつた。嬰兒の如き心を以て信仰に入られた。大人は赤子の心を失はずといふが、六十一歳の淺子さんには赤子の心があつた。其故に淺子さんの信仰は日に月に進んだ。今年六十七歳の老軀を以て、東に西に傳道に奔走して居られる。日に三回も演壇に立つて神の道を説かれることもあるといふ。三井家の深窓に生れ、大阪の富豪加島家に嫁して、衰頽せる家運を挽回して泰山の安きに置いた近代稀有の女傑廣岡淺子さんが其の晩年を婦人傳道者として送られるとは、誰か豫想しやう。御當人も神の攝理の深きを驚嘆して居られることであらう。女子教育家の叙勳などが祝賀される今日、婦人傳道者と呼ばれることは、淺子さんの唯一の歡喜であり、又其の誇りである。

▲淺子さんに就ては語るべき事が多いが茲には其の一二を以て滿足せねばならぬ。十二三の時、髮をこわすので能くお母さんから叱られた。小さい淺子さんはどうしたらお母さんの小言を逋れることが出來るかと熟々考へた末、善い事を思ひついた。髮があればこそお母さんの小言も出るわけと、夜窃に結ひ立ての髮をぷつつりと根元から切つて、枕許に置いたまゝ、ぐつすりと寢てしまつた。翌る朝それを乳母が見つけて大騷ぎになつた。けれども淺子は一向平氣でニコ／＼してゐる。仕方がないので、其日から附髷をしたが、お轉婆をするので、今度は髮がこわれる所が、ころ／＼と落ちた。これは淺子さん一代の性格を躍如たらしむるものである。

▲淺子さんは日本服は亂れ易いといふ持論から近頃は全く洋裝に改められた。それがいかにも婦人傳道者に適はしい質素な清い姿であるのが何によりも嬉しく感ぜられる。（くも）

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



雛祭りと子供

益々奬勵したき事と是非改良したき事と

雛の團欒を故郷の一つにして

學習院附屬幼稚園主任　野口幽香子

△子供本位の行事

私は子供本位の行事の少い日本の家庭に、雛祭はこの上ない美はしい樂しい催しとして益々奬勵致したいと存じます。もしかやうな興味が家庭に充實したら、恐らく不良少年も出ないでありませうし成長して我利我利盲者にもなりますまい、忙しい世の中にも、のんびりした品性を保つて行く事が出來やうにと思ふ程に價値を置き、また好きでもあります。

△學習院幼稚園の雛祭り

然し只今のお雛樣、殊に上流は大人本位で、贅澤に傾く嫌ひがあります。子供の喜ぶものは、強ちお金のかゝつたものとは限りません。私共の幼稚園では内裏も五人囃も官女も皆紙で折つて、子供等が赤や青に塗り、橘も櫻も、段も几帳も小さい頭をなやまして作つたもの斗りです。御馳走も紙や粘土や、底の砂や、たまには大根を刻んで、拵らへます。豆煎り丈けはほんとうのものを致しますが、これが家庭なら、重詰のものは子供に手傳はせて、小さい膳で當日のお客様方が、會食する事が出來るやうにしたら定めし興味も深うございませう。

△故郷を摘たぬわびしき子

更らに私は借家育ちの中流家庭の子供等が、故郷を持たぬわびしさを常に限り無く同情致して居る者でございます。この子供等は幼時と大人との二つの時代を連絡する機關が無い、田舍に育つた私共は、郷里に歸れば昔まゝゝ事をした梅の木の下、祖父が手づからした障子の繕ひもその儘になつて居るのを見て、幼い昔を追懷して、稍もすれば世の波風に荒まうとする心にゆかしい隱れ家を與へてくれます。飜つて自分の甥や姪を見れば、その美はしい記憶を止めた家も、一旦去れば知らぬ他人の住み家となつて、再び見舞うことも出來ますまいに、何によつて幼時を追懷するであらうかと、あはれまずには居られません。

△年々賑ひまさる雛の家族

さういふ境遇の人々にとつて、雛の團欒は、よい故郷を與へてくれる一つになりませう。これは初雛の時お祖母様に戴いたもの、これは小母さんが態々拵らへて下すつた着物など、鼻を缺いたり、手が取れたりしたものも、その儘繕つて永く保存して置いたら、雛の家族は年々に賑はしくなり、大人になつて後も、これを見る度毎に、幼き時の歴史をくり返して云ひ知れぬなつかしさを覺ゆることになりませう。これが私が雛祭りを奬勵したいと思ふ、最も重なる意味でございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

甘酒を雛壇に

帝國大學教授醫學博士 片山國嘉

△趣味を保つ爲に

樂しいお節句を眞に意義あるものとするには、此際子供の惡い習慣を改め除いて、よい習慣を作らせるに越した事はございません。それで從來のお節句の習慣中、先づ何を改めねばならぬかと考へます時、私は「白酒を廢し甘酒を用ひなさい」と申したいのであります。お祭と云ふものは形式が調つてゐぬと趣味の薄いものですから、お雛壇から白酒の德利を驅逐する事は面白くありませぬが、幸ひアルコール分を含まぬ甘酒と云ふものがあるのですから、之を代用したならば、お節句のお祭の形式を破らずに、而かも子供に飲酒の惡風を敎ふる白酒を用ひないで濟むのであります。

△飲酒の習慣の因

白酒が何故そんなに惡いかと云へば大人にさへ惡い影響を與へる普通の酒は二十プロセント位の酒精を含んでゐるが、白酒はそれより多くの酒精分を含んで居りますから、なほ更らよろしくないにはきまつて居ます。且つ飲んで直ぐ害があらはれるといふよりも、此お節句にお祝ひだからと一杯と云つて呑み初めた白酒が因となつて、終に酒呑みの習慣がついて終ひ、其爲め身を修め世に處する上に非常な禍を來たす故であります。初めから白酒が好きの子供は先づありません。白酒に限つた事なく、お屠蘇でもお神酒でもお祝だから一杯など、心なき親が勸めるのが度重なると、初めは嫌ひだつたものも好きになり、終に自ら求めて呑みたくなるのでありますから、子供の頃から出來る丈酒に近かづかせぬ注意が肝要であります。

△夢にも忘るな

中學時代まで酒の味を知らずにゐたものは、社會に立つてからでも自ら好んで酒杯を手にする事は少ないのでありますから、子供を眞に愛すを父母は、量の多少を問はず、子供に酒を呑ませぬと云ふ覺悟が必要で、その第一歩としてお節句の白酒を是非とも甘酒で代用し、其他お祝の時も子供には絶對に酒杯をさらせぬ―否酒に近づけぬと云ふ堅い決心がなくてはならぬと思ふのであります。それには一家の主婦たり、人の姉たる婦人が眞に酒の害を呑み込んで、夢にも子供には白酒―酒を呑ませぬと云ふ注意を忘れぬ樣願ひたいのであります。

我が家の節句

四郎左衛門氏夫人 田中千代子

△凡て子供本位に

私が子供の頃、お節句に御招待を受けましてよく諸方へお伺ひ致しましたが、何れもお雛樣が大人本位のもので、その上當日催されます餘興なども子供の自分には何となく興の薄い感が致されるものが多う御坐いました。それで私の子供等には專ら子供の爲めのお雛樣に致し度いと存じまして、別段に餘興も致さず、出來るだけ子供の勝手に面白くお遊びする事が出來ますやうに致し度いと努めて居ります。

△自由に並べさす

私の家では毎年二月の二十五六日には兄妹三人分のお雛樣は小さい雛壇と共に座敷に運ばれます。それから各自の工夫

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

によつて、人手を借りずに思ひのまゝに列らべられるのです。飾り方の順序も配置も大人の考へは少しも入りませんから、時としては内裏様が下の段に並べられたり、五人囃が上の段に置れたり、汽車も電車もまゝごとのお玩具もお雛様のお道具も、何も彼も無秩序に並べられます。けれども年とるに従ひまして、少しづゝは改められて參りますやうです。

△玩具の有丈けを出す

かうして飾られましたお雛様はそのまゝ手をつけずに置き子供がお接待役でお客様をお招き致してお目にかけるのです。勿論子供本位で、二十五人から三十人位の親類知人の方々をお呼びして、午後二時頃から六時頃まで充分の樂しみを盡します。玩具と云ふ玩具を悉く出しまして、何の干渉も無く自由に子供を遊ばせます。珍らしい貝合せに初めの間は興味を持つた子供達は、直ちの間に玉ころがしに移つて參ります、その中にまゝごとが初まつたかと思つて居りますと向では唱歌が始まると云ふ様に、それからそれへと遊戯が變つてよくお遊びになるのです。

△お土産はかうして

夕方は早めに小さなお膳を並べてお食事をすませた後、またお雛様にお供へいたしました物の中から、われこれと好きな物を撰ばせて、お土産に差し上げます。それで一と賑ひいたして、遲くも七時半頃は散會いたしますのが例になつて居ります。

今年のお雛さま

京子

□

緋桃白桃の蕾がふくらみそめて、もう雛の節句がまゐりました。十軒店の店々をはじめ市内の人形店には、白赤とり〲の色美しいお雛さまが、裝ひこらして坐つてゐます。どのお雛さまを抜きとつて見ても、何時もながら床しく、美しくてゐられますが、殊に今年は變つたものが數々とあります。御大典雛とでも申しませうか、雲上の太平樂や萬歳舞を髣髴させるお人形があつたり、十二單衣の姿床しい五節の舞姫が檜扇をかざし、袖ひるがへして天女のやうに舞を奏してゐるのもあります。また紫宸殿の御有様を忍ばせるやう、御几帳の前に高々しく親王さまの立たれたのもありました。

□

けれども、幾年來、また幾十年來、春毎に見慣れきつて、もう因習的にかゝる形と頭にしみ込んでゐる哀れな私の眼には、緋毛壇の上に女官や五人囃子や隨身にかしづかれて、浮世を他に靜かに坐つてゐられる親王さまの方がよりなつかしうございました。今年のお雛さまは歐洲戰争にたゝられて、染料や織物が騰貴した爲め約二割方高いと言ひます。そして今迄よりも概して形が小さくなつて來ました。これは土地の關係上小さい家が多くなつたり、またお勤めの人達にも容易く持ち運ばれるからですとか、社會の現象は洲に限らず、思ひがけぬ處へ思ひがけぬ姿で現はれて來るものです。

□

私はこんな事を考へながら、數知れずお雛さまを飾つてある三越の舊館の二階へ行つて見ると、其處には美しい人の流れがうよ〱と雛壇の間を流れてゐる。お雛さまはまた高い壇の上から、夫れ等の人をにこやかに眺めてゐられます。親王さまや隨身などご道具だけをのぞいて、之れならと一寸見られるのが二十圓前後、その他一人物には二圓前後で面白いものがチラ〱見えました。近頃はまた京人形の他に、少し現代の色を顔に匂はせた東京人形も迎へられてゐるやうです。値は京都ものより安い。

□

雛の節句：なんと言ふ甘い夢を傳へる言葉でせう。私達の幾多の夢は、その中に織り込まれてゐます。幾多の思ひ出は、いきづいてゐます。今年の雛を心に抱いて、幸多き日を送る人はどんな方達でせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男爵夫人の自殺

其運命の源は遠きに在り 若き女の眞に鑑むべき處

慶應義塾大學教授　向　軍　治

去る二十日の都下諸新聞紙は、千葉縣東葛飾郡八幡町大字菅野四八〇松丸藤太郎方に寄寓してゐる男爵鷲尾隆順氏の夫人せき子(三七)が、十六日午前十時頃、同縣同郡市川町の鐵道線路に於て、無慘な轢死を遂げた事を報じました。夫人は南葛飾郡鹿本村字松本の豪家飯沼松三氏の令妹にて、廿年前即ちせき子が十八歳の時、當時東京下谷區入谷町に一戸を構へ居たる現男爵家へ行儀見習の爲め小間使さして奉公中、男爵に見込まれ、數年後遂に男爵さ結婚するに至りましたが、其後不幸にして男爵は事業に失敗を重ねた結果、入谷の住宅を人手に渡し、十一年前せき子の親戚松丸氏の所有田地五畝ばかりを借り、現住地に一戸を構へて至極平和に暮して居ました。然るに三年前何者にか放火されて丸燒さなり、止むなく松丸家の十疊二間を借りて寄宿し、年々夫人の里方より仕送られる三百圓の金を力に夫婦田畑を耕しつゝ當年十三歳になる長男隆茂の成長を樂んで居つたのでありました。然るに、せき子夫人は去る十二日頃より爵ぎ居り、十六日朝男爵が東京へ用達に出でたる留守中、悲慘なる鐵道自殺を遂げたのであります。而して其玆に至りし原因さして傳へられる處は、生活不如意なる爲め年々の仕送りの外尙里方へ無心を爲す事もあり、自殺の朝も男爵が出掛けに歸宅する迄に若干の金を調達して貰ひたいさ言ひ置いたさ云ので、夫人は毎度の事さて里方へも行難く、さ云つて夫の依賴を素氣なく斷られもせず、思案の末此最 記者 後を撰ぶに至つたのではないかさ申します。

此傷ましい事實より、何を見出し何を考へねばならぬかさ、向軍治氏の御意見を叩きました。（記者）

△虚名に目眩んだ親

私は此男爵夫人を、結局、鐵道自殺でもして果つべき運命の下に置かれた氣の毒な、不幸な人として見たい。而して此悲慘な最後を見るに至つた最初の禍ちを誤まられた親達の心に見出さゞるを得ない。何故ならば、妙齡の娘を行儀見習などに出すについては、大いなる注意が拂はれねばならぬに、たゞ男爵と云ふ虚名に目眩んで、其家庭の健全と否とを問ふ事もなく、未だ思想も固まらず、世の中を知らぬ十八歳の娘を、鷲尾男爵なる人に頼んだ親達の誤つた考が、先づ第一に惡かつたのである。中流家庭はまだしも殆んご紊亂し切つた上流の家庭に、大事の娘を奉公させるなごは、宛も地獄へ導く様なものであると云つてよい。

△無智な情け

次には花ざかりの娘を預つてそれを吾物となし、而かも例へ如何なる不幸が來たにせよ、其女房の里から年三百圓の仕送りを受けて今日を暮すと云ふ鷲尾男爵は罪の人である。もはや一人前の考へを持つべき人妻と、相許し相姦したと云ふよりは、純潔なる處女を誘ひ惑はしたものゝ、罪の方が、一層重いものである。且又、いかに生きる術を知らぬ夫を有つたからとて、其生活費まで、里方より持込んで、之を養つてやる義務は妻たるものにある筈はない。かゝる事は唯々情にはかり動かされ、理性に目醒めぬ日本の女のみに見る所で、外國婦人なごには全くない。かゝる情は無智な情で、決して褒められた事ではないのである。

△感化出來ずば斷然捨つべし

けれども、既にかゝる夫に嫁した妻は

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

如何すべきであるか。さる場合は先づ自分の力で夫を感化し、之れを適當な職業につかせ得れば結構であるが、如何しても感化し得ずと見込みがついた時は、斷然之れを棄つべきである。愚かな情にひかされて、かゝる生活を續けてゆく事は社會の維持進歩の上からも望ましくない事である。棄てられた夫、棄てられた妻の如き社會の落伍者、世の中の厄介者は社會全體として保護する特別な方法を講ずべきであつて、其配遇者たる個人が負はねばならぬ責任ではない。之れは男の場合も、女の場合も同じ事である。

△貞操の德を高調して

要するに、女子の見識が確かりして居つたならば、虚名に過ぎぬ男爵などに惑さるゝ事はないのであるが、そを十八歳の少女に求むるは無理である。けれども世の子女たるものは、此事實に鑑みて、深く自ら考へ、社會の實情を知るに努め、しつかりした心を持つて世に立たなければ、紊亂した今の社會は、凡ての女子を犠牲にせずんば止まぬであらう。されば丁度男子が武力智力を練つて世の中に出づる如く、女子は貞操の德を高調して、腐敗した社會に出で、闘ふ丈の力を養はねばならぬ。兎角財産も名譽もないものは、自分の人格を無視するが、之れ封建時代の最も惡しき遺物であるから、吾々は此誤れる考を打破して、人間、社會は平等で、其處に人爵なく、個人は自由であると共に責任あるものたる事を、強く自覺して世に生きん事は、今の男女共に思ふべき事である、

△急且つ重大な問題

尙、女子が良妻たり賢母たるには、積極的に男子を感化する力がなければならぬ。此力ある妻母を有する家庭にして、始めて夫婦は純潔に、生を樂しむ事が出來るのであつて、家庭に於ける女子の權力を強むる所以も茲に在るのであるが、之等の總ては女子の自覺心に訴へねばならぬ。翻つて現在の高等女學校を見ると宗教學校以外の私立學校は、營利の爲めに建てられたるもの丶如く、眞に社會風敎の爲め盡さんとするものを殆んど見ないのは遺憾である。極言すれば高等女學校は虚榮と奢侈を敎ふる所で、社會の風俗を紊亂せしむるものである。支那の革新的人物は、先づ第一に國字の改良と、社會風俗、殊に男女の關係を改良しなければならぬと云つてゐるが、吾國に於ても正に女子敎育の改良は、言語文字の改良と相並んで最も急且つ重大なる問題である。

□一高と女人禁制

蠻カラを以て天下に獨歩する一高の第廿六回記念祭は愈々三月一日を以て擧行される、其前景氣として所謂一大問題が突發した、と云ふのは去る日七十餘名の委員が記念日の諸事項を議した時の事である、「記念日當日に於ける女人禁制案」と云ふのが提出された一高の興敗此一擧にありと鐵腕を撫して悲憤慷慨の大演説を爲す所謂硬派議員もあつて、甲論乙駁の末記名投票採決となつたが贊成者僅かに二十數名、反對五十幾票と云ふ大多數を以て否決され果つたと云ふ事、目出度し〳〵。

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり
又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に敎授す
家庭的寄宿舍の設けあり
ピアノ個人敎授の需めに應ず

本鄕區彌生町三番地
英語專門私立 櫻井女塾
電話下谷六八一五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

芝居の女から

江戸屋主人

□

小橘様

人の趣味性は多くの場合慵惰に導き易いさ深く感じて、成るべく避けやうさ務めつゝ、やはり私の心は兎角趣味を追ふ様になります。新富座の東西大合同劇市村座の五代目追善劇さ云ふ様な物々しい、すばらしい人氣の湧き立つて居る二座をさけて、本郷座へ足を向けたのも、私の妙な意地からです。

芝居を見て居ても何時もの様に緊張もしなければ、劇の中心に惹き付けられてピッタリさ心持が融和もしませんでした。狂言なり、俳優なりは別に私には不足はなかつた筈です。而し私の頭の中には、本郷座を見て居る裏面に、色彩の豐麗な新富、市村の二座が閃いて居たのでした。私は自分の心を裏切つた復讐を、自分で鞭打つて居るのでした。

□

小橘様

芝居を見物する様な餘暇も機會もないでせうが、若しざうかした氣まぐれかで、見物する場合がありましたら、中幕の番町皿屋敷を見て頂きたいのです。私は此狂言が藝術品であり、近頃の傑作であるからさ云ふのではないのです。此狂言には藝術さしては不滿な處もあり、在來あつた狂言の模倣さしても堅き足らない處があります。たゞ劇の主人公の播磨さお菊に對する極めて嚴格なる批判です。播磨は明暦頃の旗本の一人で、未だ廿五才の氣鋭の侍です。お菊は播磨の邸の人並勝れた容色を持つた腰元です。二人の間に末の末までもさ契つた仲であつたのです。

二

お菊は蜜の様な甘い戀にわけもなく醉うて居る間に、播磨に嫁が來るさいふ噂を聞き、其時「そなたの他に眺むる花は世の中にない」さ播磨が立派に誓つた言葉も、一時の氣休めではないかさ疑へば疑へる。丁度當日の珍客への厚遇さして、家の重寶高麗燒の皿を、膳部の器さして出す其取扱ひをお菊が受持つて居ります。其皿一枚破れば、一人の首をはねる制度になつて居ります。お菊は播磨の本心を試さんさ其皿を一枚割るのです。之れまでの心持の經過を松蔦のお菊は自然に演じてゐました。丁度其處へ播磨が歸りお菊が疎匆であるさ詫びる「たかゞ皿一枚の事ぢや疎匆さあれば是非もない、戀しいそなたの事、一命を絕つにも當るまい」さ何氣もなく赦します。お菊は我に歸り、僞りならぬ男の心を感謝して互に喜ぶも束の間、お菊が故意に皿を割つたさ朋輩が知らせます。お菊は播磨の糺問に、自分の淺果敢な心根を白狀いたします。播磨は純白な戀をも疑ひ、男の眞實を解せぬを恨み憎み、遂に一刀の下にお菊を切倒し、死骸を井戸に投げ込みます。さうして當家へ來る珍客が途中で町奴の一群さ爭つて居るさ云ふ知らせに、戀しい女を失ひ、重器を打割つた播磨は、江戸八百八町を、狂ふぞさ罵つて、喧嘩の場所へ飛び行きます。かうした一筋に血氣に走る短氣な男を左團次は眞實に演じて、確かによい出來でした。更に蛇足を加へます。私は自分の戀に滿足して死なんさするいぢらしいお菊の姿にはごうしても泣けませんでした。

□

反つて播磨の一徹な意地に對して、遙かに同情を寄せました。男は強い眞實な人でした。其れに對して女は餘りに弱かつた。もつさ力強く眞實に生き得る女ならば、ごうして奸策を弄するであらう。誠のない男に捨てられるのが、其れ程悲しかつたのか、私は女にもつさもつさ強い戀が欲しかつた。疑ひの餘地のないほご強い戀が欲しかつた。かうした弱い女が大なる悲劇を起した事を悲しみます。

夢

安中花子

有りがたき御經教ふる人にさへ見捨てられつと夢みて醒めぬ。

忘れてはうら若き日の悲しみもよそごとのやう語りてありぬ。

邪宗の子もろき快樂さの、しりて來は來つれざもこのやるせなさ。

夜はひと夜眠られもせず我からにしりぞけて來し幸を思ひて。

我が知らぬゆゝしき性も潜むやとよべの夢こそかなしかりけれ。

九

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帝國ホテルの料理場を觀る

一記者

△宇津見コツク長

海外から來る貴賓の御定宿、此頃も羅馬法王の特使一行が泊つてゐられた帝國ホテルの、御馳走の調へられる料理場を參觀に赴いたのは或る日の午前十時頃。裏門から入つてコック場まで導かれて、コック長の宇津見藤太郎氏に紹介される。三十七八歲とも覺しき宇津見さんは「御ゆつくり御覽なさい」と一禮したのみで、牛肉片の料理を續けてゐられる。十數名のコックさん達は、五間に十間の廣々した料理場に散在して、機敏に働いて居る。回りの羽目板にはピカ〳〵光る銅の鍋や、何んかの料理道具が整然と掛けられてゐる。場の奥の方には長さ三間幅一間のチキンストーブがあつて、其上には肉や野菜などの大鍋が七八つ載つてゐる。

△半頭の牛、四半噸の石炭

其のチキンストーブには朝五時半から夜九時まで、一日平均四分の一噸の石炭が燃されるさう。此頃は四十人内外の客で、一日三度の調理を通じて約百五十人前の料理が作られる。此外臨時の會などあれば二三百人前の御馳走が立所に出來る丈の準備がしてあると云ふ。別室には牛肉などが蓄へられて居り、一日平均半頭位の牛肉が、此處のコック達の庖丁に刻まれ、客の舌を樂しませる。豚肉は殆んど用ひられぬが、鳥類の使用量は又莫大なるものださうで、鷄卵は四十人位の客であると一日三四百個つぶすと云ふ。其他野菜類も此割合で使用されると云ふから、如何に多量のものであるかゞ想像される。

△鍋一つが十二貫

宇津見コック長は幼い時から佛蘭西人について此道を學んださうで、三度々々の獻立表の如きも此人が佛語で書くのだと云ふ。其腕前と人柄とには部下のコック達が等しく敬服してゐる。氏は熱い〳〵チキンストーブの前に立つて、多忙しく兩手を働かせつゝ記者の問ふまゝに語る「そりや此處などに比たら、普通の家の臺所はマヽ事の樣なものでせう、――婦人では此鍋一つ動かす事も能やしませんからね」と大きい深い銅鍋を指す。五六貫もあるかと思つて訊くと「どうして物が入つてゐたら百斤――十二貫からありますよ」と微笑んだコック長は更に「第一女では此熱いストーブの側に長く居たゝれませんでせう。今の女の人の身體ぢや先づ此仕事は六ケしいでせうな」と云ふ。道理こそ太陽の光に觸れる事が稀れであらうと思はれる此人の顏が、ストーブ燒けに黑くなつてゐる。

△大倉さんの女中が見習に

「法王特使の如うなお方が泊ると、料理の材料も方法も特別になるんです」と云ふ。男ばかりの此室に一人の婦人が交つてゐる、何う云ふ人かと訊ねると、大倉喜七郎氏の女中で、クッキングを見習ひに來てゐるのださうです。每日朝飯の調理は七時から十時までに、中食は十一時から二時までに、晩餐は六時から九時までに、料理する規定ださうで、其間に僅かに二三時間の休憩時間を持つばかりで朝から夜まで年中無休日で働くと云ふ此處の人達は却々骨の折れる事であらう。十時半、コック長が朝食の卓につくと、部下の人々が之れに習つて卓についた時記者は參觀を終へて辭した。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入浴と散歩

薄田斬雲

△風を引いて湯に入る勿

さる婦人が、風を引くと錢湯へ行く習慣でした、處が或時右の胸が痛くなつて背中迄痛い。最初の中は、妙だ變だで居ましたが、何時迄も癒らない。若しや肋膜でないかと心配し出して遂に我慢が仕切れず醫者にかゝると、豈計らん、醫者は「貴女は風を引いて湯に浴るでせう」と云ふのです。そして之は湯へ入つた爲めに熱が内へ引込んで、リウマチの樣なものになつて居ると云ふのです。兎に角肋膜でない丈けは安心しましたが、何んだか樟腦臭い塗布藥を十日も用ゐてやつと癒りました。能く世間には少し位の風引きは湯へ入ると好いなどゝ言ふ人がありますが、之は甚だ危險なものらしいのです。私自身の經驗から云ふと、風を引いた時湯へ入ると、其熱は何時迄も消散せず、手足がから〳〵に乾いて實にいやな氣持です。そして胃へ熱が滯つて食慾を妨げ、消化を害する事甚だしいのです。

△胃擴張に散歩は惡い

蛇の尾を捉へて持つて居ると、頭を擡げます。其時手を振ると蛇は彈力を失つてグダりと頭を下げます。私は自分の胃袋に就て何時も斯んな作用を思ふのです。私は歩く事が一番氣分が惡くなるのです。恰かも胃が動搖して彈力を失ふ事右に述べた蛇の例と同じ樣に思はれます。坐つて大工の眞似をする木を割るなど、ウンと力を出す運動よりも、足を運ばして歩るく事が私にはいやな氣持です。

それから、或る醫者は私に食後二時間は安靜にして、其後に散歩でもせよと言ひましたが、私の經驗では食後三十分位で一寸運動して、其後坐つて居ると胃の具合が好いのです。つまり胃液の汾泌作用が不順になつて居るから食後三十分位で一寸運動すると、好い具合に汾泌が行はれるのではないかと思ふので、入院でもして居るなら醫者の指示も守れるが、然もないと、自分の得手勝手――自覺の上で好いと思ふ事をするより他に方法がないのです。

△胃病者は神經衰弱

私は明治四十年頃大學の三浦内科へ校費入院をしました。三浦博士は私の胃病が研究の材料になるつもりで、入院を勸めたのでせうと思ひます。私が胃病と云ふ事を感じて以來安心して飽食する事を得たのは後にも前きにも、此の入院一ケ月の間丈けです、直接私を受持つた醫員は私に「食へる丈け食へ、苦しくなつたら何時でも手當をするから安心して食へ」と言ふのです。實の所、私は其頃出來る丈け我慢して少食して居たのです。處が、こんな指示を得て、私は安心して日頃の二倍位づゝの飯を食ひましたが、不思議に吐きも下りもせず、食後少時は腹が苦しい樣でも、四時間も經つと却て好い具合に空腹を感ずるのでした。夫れで、私にどんな藥を與へるかと云ふに、夫れは臭剝と云ふ神經衰弱の藥です。却て直接には胃を害するかと思ふ厭やな藥です。そして醫員が云ふには、胃が惡いよりも神經衰弱が甚だしいとの事でした。胸が酸けると重曹を呉れる丈けです。夫れでズン〳〵癒つて體量が殖えるのです。處が時たま病院を脱けて町を散歩すると目が暈み、胃に動悸が打つてムッとしたいやな氣持になるのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の咳の手當

誤りの多い其の療養法

醫學博士 唐澤光德

△室内の暖め方

子供が氣管支加答兒や感冒に罹つて、咳が出たらば、第一に部屋を暖めて、常に華氏の六十度の溫度を保たせるやうにしなければなりません。暖房器の最も理想的なものは、蒸氣管であるが、それは大仕掛で費用もかゝるから、一般には望まれませぬ。普通瓦斯ストーブか火鉢を用ひますが、これも煙突でもつけて換氣法を行はなければ、却つて炭酸瓦斯を製造する事になります。且つ障子一重の日本の家では、充分に部屋を暖める事が出來ませぬ。そこで一番よい方法は、蚊帳をかけて、湯たんぽを用ふると、換氣の心配も無く、適當な溫度を保つ事が出來ます。

△誤つた吸入器の使ひ方

吸入器は西洋では殆ど用ひませんが、日本ではともすると直ぐに用ひたがる癖があります。その上蒸氣の立つ傍に子供に大口を開けさせて置くなどは、以ての外です。東京のやうに北風が強く、乾燥し切つて刺すやうな空氣は、健康な人の咽喉をさへ刺戟し易いのですから、少し感冒にでも罹つた子供には、呼吸の苦しいのは當然です、吸入器は只空氣を幾分濕らせて、和らげれば宜しいので、餘り近くに子供を置いて火傷さした例しなどもあります。湯の中に入れる藥は、リスリン、又は重曹、食鹽の何れかを百倍乃至二百倍にして入れる丈けでよろしい。

△濕布を用ふる注意

次に濕布は普通モンパの間に油紙を挾んだものを用ひて居るがどうもずり下つたり、寢ながら取換へるのに不便であつたりするのでどうか工夫をしたいと思ひ

十二

ます。この頃某夫人が濕布カバーを發明して、襦袢の身頃のやうにして、脇をホックで止めて居りますが、これは今專門家が試用中です。濕布の布に酒を使ふ人がありますが、それは香ひを嗅せる丈けでもよくない上に、濕布かぶれが出來る憂ひがありますから、やはり微溫湯に濕らして置く丈けでよろしい。その代り濕布を取換へる度毎に、濕れた處をよく拭ひ、天花粉、亞鉛化澱粉、もしくはシッカロールをふりかけて置くがよろしい。もし度々濕布を取換へる事もむづかしい程、病氣が重い時には、アンチプロピスチンと云ふ一鑵一圓位で賣つて居るものを、熱湯の中に鑵ごと入れて、溫まつた時、一分位の厚さに塗つて用ゐると二十四時間は溫度を保ちます。

△氷嚢の濫用

次に今日は氷嚢の濫用が夥しいものです。まだ頭痛も訴へぬ三四歲位迄の幼兒に、頭や胸に氷嚢を當てさせるなどは、子供の治療が丁寧になり過ぎて、却つて子供を氷漬けにするやうなものです。下熱の目的なら、子供には水の濕布で澤山であります。(三越主催家庭講演會にて)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春の装ひ

恰好のよい帯の〆め方

半澤千枝子

□うらゝかな春が參りました。重くるしい羽織も脱げた輕い裝ひに、最も目立つのは帯の〆方でございます。心地よく身體になづんできちんと〆られたのは、他目にも快く感ぜられます。先づ下巻きを確かりと巻きましたらば、帯は少し胸高に、受を脇の處まで上げ、他を斜めに下げて、充分に下の方まで腰を巻き加減にしながら、前の方に廻します。そして今度は前と反對に、十文字になるやうに下から上向きに卷いて、あんまり強くないやうに結びます。

□帯上を致します時には、帯の兩端を少しつめて、中央をゆるめ帯の上が一直線にならないやうに注意しながら輕く結びます。もし帯が下にづれ落るやうでしたらば、帯上の下に帯上留をさしまして、其の上に帯上を致しますと決して帯が下るやうな事はありません。

□お太鼓の結び目も、一直線になりますより少し丸味をもちました方がよろしうございますから上の方と同じやうに中に這入る方の帯の中央を一寸折つて結びます。お太鼓の長さは帯の巾よりも幾分か長い位か、或は同じ位に見えるのを程度と致しましたらばいゝでせう。そして結び目が前に巻きました帯の終りよりも下らない様に致しますときちんと見えます。垂れは上部の三分の一か或は少し大い位ひがいゝでせう。帯〆は結び目の極下の方で帯を引き具合にして結びます。全體から申しますと、帯は帯上げの處が高くないやうにして、眞中をふつくり結びますのがよろしうございます。

□襦袢の襟は中途まで縫ひ付けて、あとは縫はずに置きますと前に下りを付けなくても、そんなにつれ上がらなくてよろしうございます。後の付紐は廣く付けますと、其の巾だけに襟が後に引けて、頸が太く見えますから、少し付けて、狹い部分だけ引けます様に致します。そして紐を眞直に付けずに中央を高くしてつけますと襟を十分に後に引くことが出來ます。

□おはしよりの紐は上目に衿先へ一寸かゝる位の處に〆ますのが具合がよろしい。帯は着物の衿元から三寸位下つた處に結びますのが一番格恰がよろしうございます。

甘酒の作り方

白酒の代りに用ふる爲

▲作りの甘酒　炊き立ての御飯と糀とを一側おきに甕の中に入れ、湯氣の洩れない様に確り蓋をして四五日間置くと硬作りの甘酒が出來ます。これを湯で適宜に延べ塩を少し塩梅いたします。割合は米二合に糀一枚でよろしいが糯米ならば尚美味しく出來ます。

▲早作り又は一夜作り　といふ造へ方があります。これは糀に微温湯をかけて少し濕らせ、炊き立ての少し冷めた御飯に交ぜ、掻き交ぜながら煮て一体に十分に火の通つたところで火から下し、微温くなるまで掻き廻してから甕に入れ、よく均してすつかり蓋をして一晩おくと甘くなります。甘酒は酸くなることがありますが、其の時は重曹を少し入れるとこの様になります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雛の馳走

櫻井ちか子

いよ〳〵お節句になりました。今度はお雛様へお供へする、極く手輕なお料理を書いて見ませう。

▲**豆いりの作り方**　砂糖大さじ三又は銅鍋に入れて沸てきましたら、炒種と霰と豆とを各等分で暖めたのを入れて手早く搔き交ぜます。炒種と豆と霰は多く作る時には、別々に砂糖をつけて後に一所にするとよくつきます。砂糖半斤に霰二合、豆一合、炒種一升の割合に致します。砂糖をとかします時に水は入れなくてもよろしうございます。

▲**薩摩薯の茶巾絞り**　薩摩薯の筋のないのを撰び、皮を剝いて、よく水洗ひなしましたらば、五分位に輪切にし、茹でゝ軟かになつた時水をすつかり搾り、熱いうちに匙か杓子でよくつぶし、砂糖と鹽少量をよく交ぜ合せ、布巾に少しづゝ入れて適宜の形に絞るのです。其の一部分に食用紅少しを交ぜて其の上に一寸飾ると綺麗になります。

▲**厚燒卵**　比目魚の皮や筋などをよくとり、擂鉢で擂つて身が全く碎けた時に、卵を一づゝ入れて擂り交ぜ、小盃一杯の酒と鹽少量及び白砂糖を加へて又よく擂りまぜます。鹽梅を見て足りない味は適宜に加減し、出來上つたらば卵燒鍋に油を敷き其の中に流し込んで上下を燒くのです。小さな燒鍋で厚く燒かなければいけません。

▲**梅花卵**　卵をよく茹でゝ黃味白味を別々に裏漉にして置き、名々に砂糖及び鹽を加へて鹽梅します。別に濡れた布巾を俎の上に擴げ、先づ白味を平らに敷き、其の上に又黃味を敷き並べて、布巾の小口から平らに卷き、其の周圍を五本の箸で圍つて兩端を縛り、其の儘二十分位蒸すのです。蒸し上つてから布巾を取り去つて小口から三分位の厚さに切ると梅の花の形になります。

▲**小蕪の甘酢煮**　形のよい小蕪を選んで皮を剝き、其の半ば位迄横縦に庖丁を入れて刻み目を拵へ、鹽をふりかけて置きます。二三十分經つた頃、よく水氣を切り、酢砂糖の煮立つた中に入れて、軟かくなるまで煮るのです。煮え上つたらば、赤唐辛子で蕪の眞中を飾るのです。

子供の智慧

□何處ぢや〳〵のおと

芳子ちやん（三歲）は母樣と一緒に今度引越さうといふ神田のお家を見て來ました。歸つて來ると「母ちやん神田のお家には、ざこぢや〳〵のおとゝが澤山ゐまチたね」と申します。何かと考へて見ますと茶の間の襖に竹に雀の模樣があつたのを、いつの間にか見てゐて「お宿はどこだ」といふ舌切雀の話に思ひ合はせたのでした。

十四

□あんよを見イ

照ちやん（滿二歲）は今迄母さんが編んだ毛糸の足袋斗り穿いて居りました。今度初めて底のついた赤いプラシテンの足袋を穿きますと、下駄と間違えて「カツコはいた〳〵」と云つて、出世したやうに喜んで居ります。人樣がいらつしやると、大威張りで、最先きに「あんよを見イ」とつき出すには閉口します。

□僕は行かないで

徹さん（五歲）はひどい風を引いて寢て居りました。毎日お醫者樣の見舞ひを受けたおかげで、この節は大方癒りました。母さんと、祖母さんとが、他所の方の病氣をなつたお噂をして、「永い間お醫者樣に通つてやつと癒つた」と云ひましたら、徹さんは「僕はお醫樣に行かないで癒つた」と申しました。

●投稿を歡迎します●●●●●

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

西洋の楠公

斬雲

昔羅馬の國と地中海を隔てゝ向き合つたカルセージと云ふ國がありました。今のアフリカの北の海邊の國で、埃及の西隣りに當るのです。

此のカルセージの國にハンニバルと云ふ大將がありました。大變強くて、そして、大變賢くて、謀略がうまくて、そして國家の爲めに身命を捧げて、敵國ローマと戰ひました。丁度我が楠正成の樣な人物です。

處が最初は、ハンニバルもローマの都迄押寄せて戰ふ毎に勝ちましたが、運命拙くして、最後の戰に敗け、自分の國にも居られなくなつて、諸々方々の島國を逃げ廻りました。處が或る島へ渡つた時、其の島の人々は、ハンニバルが大きな箱へお金を一杯持つて居るのを見付けました。ハンニバルは今にも都合が好くなつたら、軍艦の四五十艘も買入れて、も一度ローマと戰爭しやうと云ふ考から、其の軍用金として澤山のお金を持つて歩るいたのです。其の大事の金箱を島人に見付けられたから堪りません。ハンニバルを殺して其金を取らうと云ふ相談です。ハンニバルは、夫れと知つて島人等の大勢集つて居る處へ出かけ、金箱を彼等に渡して言ひますには、「私も斯う方々の島廻りをして居ては、モ一度ローマへ押寄せて一合戰する見込もないから、此の金は一時此の島の神樣の廟へ預かつてもらいたい」。

島人は互に目配せして、心の中では、ハンニバルが此島を立去つたら、直ぐ其金箱を開けてお金を皆なで分けやうと考へながらも、口では大變立派な事を申しました。「大將樣、それではお金箱はお預りをして神樣の廟へ納めて置きませう、大將樣が御入用の時迄は、誰にも手を觸れさせぬ樣致します」

ハンニバルは之を聞いて安心した體に島人に禮を述べ、扨て申すには、「私は幼少さきから信仰して居る神樣がある、夫れは此島の氏神樣と同じ神樣で、昨日町外れの古い荒れ果てたお堂を見ると、丁度手頃な黃銅で製へた御神體があつたから、あれを貰つて行きたい」、島人はハンニバルの金箱を受取つたからには、持主も知れぬお堂の御神體などはどうでも好いと思ひ、早速之をハンニバルに送る事を承諾しました。

ハンニバルは、「然らば又來る迄金箱は確かに預け置く」とばかり、彼の御神體をば大事に船に持運ばせて、やがて順風に帆を揚げ、海上遙かに出立しました。島人は之を見送つて〆めたとばかり、早速寄つて群つて彼の金箱を開けて見ますと、上一重は山吹色の黃金ですが、其下は石ころばかりでした。

ハンニバルは彼の御神體へお金を詰め込んで、さつさとあばよを極め込んだのです。流石は西洋の楠公、うまい計略です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

スタウ夫人（承前）

△一年間に百二十版を重ぬ

此小説が終りに近づいた時分に、ボストンの本屋が、利益半分けの約束で、之を一冊の書物にしやうと申込んだ。夫人は己の作の價値を知らずに、「貧乏ですから」と云つて之を斷つた。そして賣れ高の一割といふ約束で出版させる事にした。書物が出に世た第一日に三千部賣れてしまつて、次の週間に再版をする事になつた。それから大風が蒔き散らすのかと思はれるやうな勢で、四方八方に賣れて行つて、一年間に百二十版をかさねるやうな事になつた。

△夫人の名四方に輝く

夫人は三ケ月の後一萬弗の利益配當を受け、六ケ月の末更に一萬弗を得た。これほど流行を極めた書は、米國に於ても稀有であつた。單に米國ばかりでなく、英國に於ても、また遠い植民地に於ても賣れた。國外で賣れた部數だけが、百五十萬部に達したと云ふ事である。英國の博物館にあるのだけでも、三十五種の版がある。其外二十ケ國の國語にも譯せられた。また演劇にも仕組まれた。かくして此小説は世界中到る處で讀れた、そして到る處で、同情と賞賛を得た。かくてスタウ夫人の名は四方に輝いた。

△諸文豪との交遊

夫人は英國に旅行して非常な優待を受けた。そしてハリエット・マルチノー女史、ジョルジ・エリオット女史、デッケンス、サッカレー等の諸文豪と交つた。

其後「ドレッド」「牧師の求婚」などの小説を書いた。是等の小説の價値は「アンクル、トム」以上と定められた。夫人は故國に於ては、ラウエル、ホルムス、ロングフエロー等の諸名士と文遊して樂しき日を過すやうになつた。しかし夫人の最も得意であつたのは、自由平等主義が勝利を占めて、奴隷が悉く開放せられた時であつたに違ひない。

十六

△悠々自適の餘生

寡婦になつてからは、ハルトフオルドに閑居して、靜に晩年を送つた。來客を優待したり、音樂を弄んだり、花を作つたり、愛犬をつれて近郊を散歩したり悠々自適して餘生を樂んだ、人々は爭ふて夫人の手跡を乞ふた。里の子供等は、夫人の影さへ見れば「あれが名高いスタウ夫人だ」と云つて大騷ぎをした。

△夫人坐右の銘

かく、夫人はその心血をそゝいで唱導した自由主義の實現をまのあたり見る事を得て、光風霽月安らかに老を養ふて、千八百九十六年に、八十五才の高齡を保つて此世を去つたのであつた。其最後の年の三月に、夫人は人の請ひに應じて「上帝を信じて、善を行へ」と云ふ一句を書いた。之は夫人の坐右銘であつたと云ふ事である。スタウ夫人の「アンクル・トム」を書いたのは四十歲の時であつた。—をはり（翠子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（九）

松本雲舟

訪問の五

ブラウチウスは歡迎の意を表して、善くこそと言つた。感謝に就ては、ブラウチウスの方がペトロニウスにお禮を申すべきであると言つたが、ペトロニウスはブラウチウスに何をしてやつたか覺えがないのであつた。

實際ペトロニウスは覺えがない。ブラウチウスや其他誰れかにどういふ事をしてやつたらうと記憶の絲をたどつて、徒らに栗色の眼をぱちくりしたが、何れも思ひ出せない。若しあればヴィニチウスにしてやらうとしてゐる事位のものである。多分自分の知らぬ間に、人のためになるやうな事が起つたのであらう。

「私はヴェスパシャンを愛しもし、又尊敬もいたすのですが、あなたはあの男の生命を救つて下すつたでしたな、運惡くも皇帝の詩吟中に睡りこけましたですが」とブラウチウスが言つた。

「あの男の睡つたのは好運でした」とペトロニウスが答へた。「皇帝の詩を聽かなかつただけね。でも、其の好運ももう少しで不幸になる所でしたな。赤髯が直ぐ百人の長を遣はして、友人の態度で、動脈を切つて自殺するやうに忠告させましたですからな」

「あなたが其時皇帝をお笑ひになつたさうで」

「さうでした。もつと眞實に言へば、反對いたしたので。私はネロにかう申したです。オルペウスは歌を唄つて野獸を寢かしつけることが出來た。それ故ヴェスパシャンを寢かしつけるといふは、オルペウス以上の成功をなすつたのでな。あの赤髯は少々批難するやうに見せかけて、大に諂つてやるやうにすれば、どうにでもなりますからな。皇后のポッペアも中々能く此手を知つてゐます」

「あゝ、それが時代の風潮ですかな」とブラウチウスが言つた。「私は前齒を二本折りましてな。英國の投石兵が投げた石が當りましたので、そのために口を利く時にすう〳〵しますが、それでも英國で送つた日を私の一生で一番幸福な時と思つてゐます」

「勝利の日であつたからでせう」とヴィニチウスが急いで附言した。

けれどもペトロニウスはこの老將軍が戰爭の長話を始めさうなのを怖れて、話題を變へた。「プレネステ市の圍境内で、頭の二つある死んだ狼の仔が見つかつたさうです。三日前に暴風の間に、稻妻でルナの神殿の隅が壞れたさうですが、秋にはあまりない事ですな。コッタといふ者が私にその事を話したのですが、ルナの神殿の僧侶はそれを或る市が滅亡するか、少くとも大家の零落する徴候と考へてゐるさうです。さういふ零落を防ぐには、非常にえらい犧牲をせんければならんさうで」

ブラウチウスはペトロニウスの言ふ所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を聽いて、さういふ兆候は顧はずにおくことは出來ませんと言つた。神々が數へ切れぬ惡のために怒られたのは不思議はない。かういふ場合には和めの犧物をせねばならぬ。

ペトロニウスはこれに抗議した。「プラウチウス殿、あなたの家は澤山の人數のやうですが、特に大きくはありません。私の家にしたところで、値のない主人には大き過ぎますが、家そのものは大きくはありません。ですが、大家、例へば皇帝の御殿であるドムス・トランシトリアのやうな大きな家が倒れるやうなとがあつても、私共には犧物をしてそれを救うとは出來ないですか」

プロウチウスはこの問には答へなかつた。この沈默は、ペトロニウスの氣持を惡くした。彼は善惡の判斷を失してゐたが、決して探偵にはならぬ。それ故怖るゝ所なく話してもらひたかつたのだ。そこでペトロニウスは又話題を變へて、突然プラウチウスの家を讃めて、優美な趣味が何處にでも現はれてゐると言つた。

「これは古い屋敷でして」とプラウチウスが答へた。「私は親から讓られたまゝ少しも變へませんので」

屋根のある露臺から部屋を仕切つた扉が片寄せられたので、家の全景を見ることが出來た。露臺から列柱、その後の部屋を眺めてゐると、庭園が視線に入つて來た。遠くから見ると、明るい畫を黑い枠に入れたやうである。庭園から子供達の嬉しさうな聲が傳つて來た。

「あゝ、將軍」とペトロニウスが叫んだ。「あの無邪氣な笑ひ聲をもつと近くへ行つて聽せて下さらんか、今時あゝいふ笑ひ聲を聽かうとしても中々聽けませんからな」

「どうぞ」とプラウチウスは椅子から立ち上つた。「伜のアウルスとリジヤが毬投げをしてゐますので。笑ひ聲といへばペトロニウス殿、あなたは一生樂しく御暮しになりましたな」。

「人生は笑ふべきものですから、私は笑つて暮しました」とペトロニウスが答へた。「ぢやが、あの笑ひ聲は趣が違ふ」

「さういへば」とヴイニチウスが附言した。「叔父さんは晝中笑ふのでなくつて、夜通し笑ふのですな」

話しながら、家の中を通り越して、リジヤと息子のアウルスが毬投げをしてゐる庭園に出た。毬拾ひといつて、特にこの遊戯を世話する奴隸が地から毬を拾ひ上げては、二人に渡してゐた。ペトロニウスはリジヤに視線を投げた。息子のアウルスはヴイニチウスを見て、挨拶しやうと思つて走つて來た。ヴイニチウスは娘の側へ歩み寄つて、首を下げた。リジヤは手に毬を持つて立つてゐたが、髮は少し亂れて、息をせい／＼して顏を赤くしてゐた。

庭園にある食堂は常春藤、葡萄、忍冬の蔭に覆はれてゐたが、そこには、ポムポニヤ・グレシナが坐つてゐた。來客は急いで挨拶に行つた。ペトロニウスはプラウチウスの家を訪ねたことはなかつたが、ルベリウス・プラウタスの娘アンチスチヤの家や、セネカやポリオンの家でポムポニヤに逢つたことがあつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

●日獨戰行賞發表　日獨戰に參加せる獨立第十八師團司令官神尾中將以下七千七百五十一名の將卒に對する論功行賞第一回は廿二日發表されたり。

敍功一級授金鵄勳章年金千五百圓旭日大綬章　陸軍中將　神尾光臣
敍功二級授金鵄勳章年金千圓旭日重光章　陸軍少將　山梨半造
同上　同　堀內文次郎
同上　同　山田良水
敍功三級授金鵄勳章勳二等旭日重光章　陸軍少將　渡邊岩之助
敍功三級授金鵄勳章旭日重光章　同　淨法寺五郎
敍功三級授金鵄勳章旭日重光章　同　山田陸槌
敍功三級授金鵄勳章旭日中綬章　砲兵大佐　磯村年

◉乾坤丸沈沒す　日本汽船乾坤丸はマルセイユよりバルチモアに向ひ航行中十一日目に大西洋上に於て暴風の爲擱坐せるが乘組員中生殘者は僅に十一名にして彼等は英國東岸のプリマウスに到着せり。

◉東京府の學費補助　東京府にては御大典記念事業として五萬圓の教育資金を積立て其利子を以て貧家の子弟に學費を補給して有爲の材をして其天資を伸ばさしむる道を開くべく大正五年度より實施することとなれり、五年度の利息は僅々七百餘圓に過ぎざれば極めて少數を補助し得るのみなれども年々其數を增加するに至るべしと。

◉電車賃値上の經過　東京市參事會にて可決されたる電車賃値上案は廿一日の市會に上議さるゝ筈なりしが奧田市長病氣缺席の爲め廿六日頃まで延期さる、市會の大勢は値上反對議員少數なれば多分可決さるべし、尙各區に値上反對の團體起り運動中にて、高木(益)高木(正)黑須、賴母木四代議士は廿一日一木內相箕浦遞相を訪ひ電車値上反對の陳情を爲せり。

◉新侍醫三名　東京高等師範學校教授醫學博士村地長考、東京帝國大學醫科大學助手高崎康忠及び高橋信の三氏は十七日侍醫に任命さる。

◉澄宮新御用掛任命　十七日左の如く任命ありたり

澄宮御用掛被免澄宮御養育掛被仰付　皇子傅育官　桑野銳
澄宮御用掛被仰付(奏任待遇)　掌典　立花寬篤
澄宮御用掛被仰付(奏任待遇)　正五位　山尾三郎

◉女學校長表彰さる　兵庫縣神戸市下山手通七丁目友國はる子刀自は、明治二十五年親和女學校設立以來自ら校長として、女子教育に貢獻する處多大なりしを以つて、十六日賞勳局を經て藍綬褒賞を授けられ其の功績を表彰せられたり。

◉株式の大暴落　戰爭景氣にて軍需品株を始めとした流行株は一齊に暴騰し兜町には雨後の蕈の如く小成金輩出したるが、本月十七日の市場は俄然大暴落となり、東株の五十圓安を初め紡績株は片端より十圓安石油株化學工業株等何れも二三十圓安となり、小成金の例產するもの枕を並べ、宛ら恐慌來の感なりしが、翌十八日の市場は整理の爲め休會するの止なきに至れり。

◉藥品の騰貴調べ　歐洲大戰勃發以來各種輸入品の騰貴甚しく、中にも藥品の騰貴は驚くべきものあり、注射液アコインの如きは約六十五倍(戰前一瓦廿七錢現今十七圓五十錢)に及び其他獨逸より輸入されて居たる新藥何れも十倍より卅倍に及び居れるが其重なるものを擧げれば左の如し。

品名	戰爭前の相場	現今の相場
アンチピリン(一封度)	円 三、九五〇	円 七〇、〇〇〇
アスピリン(同)	一、五〇〇	三七、〇〇〇
アンチヘブリン(同)	五七〇	九、〇〇〇
ピラミドン(同)	五、七〇〇	一四五、〇〇〇
昇汞(同)	一、一二〇	五、五〇〇
硼酸(同)	一七〇	七八〇
ソーダ灰(百斤)	三、五〇〇	一三、五〇〇
(之が爲め硝子屋洗濯屋は非常な影響を受居れり)		
レゾルチン(一封度)	一、五五〇	四五、〇〇〇
グリセリン(同)	四二五	一、二五〇
ヂユンチン(同)	五、五〇〇	七六、〇〇〇
酒石酸(同)	七八〇	二、七〇〇
重曹(同)	〇五〇	一八〇
水銀(一斤)	一、七〇〇	五、八〇〇

◉男爵夫人の慘死　府下中澁谷三八二男爵名和長憲氏夫人溫子(四六)は、十八日長女露子の出產見舞の爲め入新井村なる德川男爵邸を訪問し同午後九時半歸途に於て、山手線電車(上野行二五七號)に乘り澁谷停留場にて下車の際降り遲れて、六間程電車の進行したる時慌てゝ飛び降りし爲め過つて線路內に陷り遂に慘死を遂げたり、葬儀は二十一日午前十時自邸に於て神式にて營まる。

◉露國分捕艦讓渡　日露戰役の砌り我軍の手に歸したる一等海防艦丹後、二等海防艦見島、戰艦肥前、一等海防艦周防の四艦は、露國政府の懇請に依り最近に至り我政府は相當の代償を以て讓渡す事に內定したりと。

女學校だより

△女子高等師範學校　四月入學せしむべき本科生の外に選科生若干名を入學せしむる由、志望者は試驗の上入學を許可すべし。

△女子英學塾　每年一名づゝ奬學金の利子を以て學生に學資を給せるが本年も左の條件の下に目下募集中なりと△滿三十歲以下にて將來女子教育に從事する者△なるべく教師の經驗ある者△志願者は詳細なる履歷書に健康診斷書及び自作自筆の英和兩作文を添へて來る三月十日迄に差出すこと△支給額一ヶ月金十二圓。

△上野高等女學校　去る十九二十の兩日成績品展覽會を同校內に開催し、尙十九日午後四時より溫舊會總會を催したりと。

△深川裁縫女學校　來る二十五、六の兩日間成績品展覽會を開くべしと。

△御茶の水高等女學校　來る四月入學せしむべき本科生の外實科生(修業年限二ヶ年)三十名募集中なり願書は三月十日迄に差し出すべしと。

△千代田高等女學校　生徒製作品展覽會は廿六、七の兩日と決定せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△成槃女學校・燒失後本鄉駒込曙町に假校舍を設けて授業を續け居りたる同校にては西ヶ原妙義坂上に校舍を新築すべく去る十日より着手せしが四月上旬落成の豫定なりと。

個人消息

▲矢島揖子　十九日大塚高等師範學校內青年會に於て講話さらる。

▲前田園子(女醫)　御實父邦輔翁過る十五日逝去さる。

▲喜田文子　去月來病氣にて駿河臺濱田病院に入院治療中の處、漸く快方に赴き、近く退院の筈。

▲元田綾子(政友會總務元田肇氏母堂)此程より病氣中なりしが遂に十七日午後六時逝去さる享年七十二。

▼江見友子(小說家水蔭氏母堂)老衰にて十八日午後一時逝かる享年八十二。

▲三浦環子　來月十三日より桑港コート座に於て露國舞踊家アンナパウロウナ孃と共に舞臺に現はるゝ筈なりと。

▲林戶山學校長母堂　去る二十一日午前七時自邸に逝かる享年七十五。

編輯室より

▲日曜の午後の編輯室は賑かでした。圖らずも愛讀者の方々が二三お尋ね下さいまして、日の暮るゝ迄樂しく語りくらしました間に、日頃の御生活と其の周圍の狀態さを有りの儘に伺うことが出來て、尠なからず學ぶ處がありました。▲文展に二度迄入選された若い女流洋畫家の有馬さと子女史が自ら描かれた紅薔薇の額を携へて來て下さいました。南國の少女の燃ゆる血潮を投げかけたやうなその味ひは、誠に心地よいものであります。▲春になつて稀らしい大雪が降りました。不順のこの頃皆樣の御自愛を切に祈ります。

社告

▲本社には振替口座東京三一六六〇番がありますので、大方の愛讀者各位より購讀料を御拂込み下さいまして、お互に非常に便利に存じて居りますけれど、尚ほ郵便局まで御出になるのに大變遠い處のお方や、又御多用で態々郵便局まで參られる御暇の無い方々の御便利を圖る爲め今後集金郵便によつて御集金申す事にいたしますから、右豫め御含み置き下さいませ。

▲就きましては、只今までの購讀料未納の御方々へは、本月末より來月上旬へかけて、集金郵便を出しますから、何卒左樣御承知置き下され、御支拂下さいます樣に願ひ上げます。

▲尚ほ、集金郵便は金額一圓迄金六錢の手數料を納めなければなりませぬが、時局の爲め用紙印刷代等暴騰の折柄諸經費嵩み勝ちの處でありますから、購讀者各位に於て此手數料の半額金三錢丈御負擔下さいます樣に、特に御願ひ申します。

▲又、新定價(一部金四錢五厘送料五厘)發表以前に申込まれた購讀者には舊定價にて一年間は差上げる筈でありましたが時局の影響にて諸雜誌とも値上を斷行せんとする際でありますから、此事情御察し下され、爾今新定價に依り御購讀下さいますやうお願ひいたします。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ケ月(四部又は五部)金貳拾錢
△三ケ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)　金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)　金廿五圓
△貳等(色紙の表側)　金廿貳圓
△參等(色紙の內側)　金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　小橋三四子

東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店

東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

月刊女學雜誌

女王

□本誌の主張□

□本誌は婦人問題の眞面目なる研究者であります。

□本誌は生命の創造者たる女性の愛護者であります。

□本誌は我國婦人界に向つて清高貞潔の理想の鼓吹者であります。

□本誌は婦人の自覺に基く女性文明の建設者であります。

□本誌は人格の源を培ふ高き趣味の教養者であります。

□本誌は愛と平和を以て婦人の本務となすものであります。

本誌見本の御必要の方は御申込次第御送呈致します。

本誌定價
一部十錢
前金一年一圓
同半年分五十五錢

東京麴町區飯田町三ノ二四第三帝國社内
發行所 女王會
電話番町七五〇番・振替東京二七九二〇番

主筆 別所梅之助

護教

▼毎週金曜日發行▲ 見本贈呈

▼定價 一部四錢五厘(郵稅共) 三ヶ月五十五錢(同) 一ヶ年二圓(同)

▼本誌は明治二十四年の創刊に係り、日本基督教會三大機關紙の一つなり。

本誌の内容

▲社說は時事問題其他の眞摯なる主張にして▲講壇には内外名士の名論卓說を掲ぐ。又▲研究及び想苑は諸般の眞面目なる論究にして▲信仰之友に於ては美しき信仰生活の反映を見るべし。其他▲雜錄藝苑家庭の諸欄ありて趣味と教訓とを兼ね、信徒、求道者及び一般修養に志す者の好伴侶、好手引たり。尚全國一般の教勢を知るに便す▲本誌の編輯は別所梅之助・倉長巍・石坂龜治其他の數氏是に當り▲寄稿家には、平岩愃保・高木壬太郎・山田寅之助・山鹿旗之進・吉崎彦一・舟橋雄・釘宮辰生・三浦泰一郎の諸氏ありて之を助く▼

▲毎月一回、第一金曜日發行の護教に附錄として添ふ。

▲されど、附錄のみの注文(但十部以上)に應ず。定價左の如し。

護教附錄

傳道

▼傳道は四頁の月刊附錄にして、平易なる神學、信仰實驗談、及聖書の簡易なる講義等、内容に富み、趣味を兼ね、求道者及び傳道用として眞に好適なるものなり。

今回豫想以上の部數を出だすに至りしを以て、紙質を改めると同時に定價を減じたり。

定價(郵稅共)

十部	十二錢
廿五部	二十五錢
五十部	四十五錢
百部	八十錢
二百部	一圓四十五錢
三百部	二圓
五百部	三圓
一千部	五圓五十錢

東京赤坂區青山南町五丁目四十五番地
發行所 護教社
電話芝四六七九番・振替東京二五六九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生徒募集

女子學院

麹町區上二番町三十三、電(番)五四九五

入學出願期日 三月末日迄

本科一學年 五十名

尋常小學卒業生ハ無試驗ニテ本科一年ヘ入學許可ス

高等科一、二、各學級補欠若干名試驗ノ上入學許可ス寄宿舍ノ設アリ内外ノ教師同居ニテ懇切ニ指導ス

入社御望の方は婦人週報社にて御取次も致します

安心して買物が出來る(東京市及び市附近郡部に限る)

我購買組合共榮社は米を始め凡ての食料品并に多數の日用品を品質精選の上多量纏めて割安に仕入れるので之を普通の店より安價に本組合員に分配致します營利に傾かぬのが本社の特色とする處で尚多少の利益を剩す場合には其剩餘金は我組合員の購買高に應じて割戻の方法もあります御用聞も配達も隔日參上致させます◉責任を明かにする爲め左に本社員の名を列記しました

◉役員

理事長 伊澤耳立
理事 岡本利兵衛
理事 足立荘
理事 菊池綾五郎
理事 船尾榮太郎
理事 高津次盛
理事 加納與四郎
監事 倉知誠夫

◉評議員

井上敏夫 原田虎太郎 和田豊治 加藤木重教 内田直三 坂田實 日比翁助 村上定
岩崎一 波多野承五郎 子爵加納久宜 門野幾之進 久米耳作 菊地武徳 平尾信壽 武知直道
村井貞之助 堀井卯之助 鎌田榮吉 津田與二 松尾清次郎 北川禮弼 鈴木梅四郎
岩本述太郎 太田黒重五郎 門野重九郎 男爵長松篤棐 青木大三郎 由井彦太郎 竹村耳貞

東京京橋區新富町一丁目八番地
電話京橋(二一七〇番)(二二〇五番)

有限責任購買組合

共榮社

生れつき姿の惡るい方でも帶を上手にしめると見違へる樣に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の樣で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だらり」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肩、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸(即ち胸式呼吸)を完全に營む事が出來ますつまり內臓(肺、心臓、胃等)の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

審美的な、衛生的な

專賣特許

帶あげ上め

定價三十錢ヨリ

■販賣店■
三越呉服店
三越大阪支店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋萬新商店
同 富士喜商店
本社代理部

京都染物

東京市本郷區湯島新花町八

中村榮次郎

電話下谷五六七四

東京小石川

日本女子大學校

生徒募集

■家政學部■英文學部■教育學部 家政科第一部、第二部

●右各學部本科豫科●教育學部卒業生は家事科中等教員無試驗檢定の特典有

■高等女學校 一年級及各級補缺■小學校男女■幼稚園男女

●願書期日三月廿五日●入學試驗四月四日より●規則は二錢郵券送付あれ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA